

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Mobile クライアント 2020 R3

ユーザーマニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
はじめに	5
XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて(説明付き)	5
XProtect AccessおよびXProtect Mobile(説明付き)	6
要件と注意事項	9
開始する前に(システム管理者用)	9
音声を聞くための要件	10
ブッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	10
ビデオプッシュ使用の要件	11
ダイレクトストリーミングの要件	11
インストール	12
XProtect Mobileサーバーサーバーコンポーネントのインストール(システム管理者用)	12
モバイルデバイスでXProtect Mobileをインストールする	14
設定	15
サーバーのユーザープロフィールを構成する(システム管理者用)	15
XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する	15
アプリの言語を選択	16
モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する	16
モバイルサーバーの接続設定	18
モバイルサーバーへの接続の表示と編集	20
通知の有効化または無効化	21
ボタンと設定の概要	22
モバイルデバイスからのビデオのストリーム(説明付き)	27
モバイルデバイスでのビデオストリームの設定	28
受信音声の再生(説明付き)	29
ブッシュ・トゥ・トーク(説明付き)	29

ダイレクトストリーミング(説明付き)	31
アダプティブストリーミング(説明付き)	31
操作	33
XProtect Mobile アプリにログインする	33
生のビデオを閲覧する	33
ビューのフィルタリング	35
フルスクリーンでライブビデオとインターアクトする	36
ピクチャイン ピクチャの使用	37
スナップショットの作成	38
ビデオ録画の検索と表示	38
再生タイムラインの使用(説明付き)	40
調査の表示または作成	42
デバイスから監視システムにビデオをストリームします。	43
アラームを表示	44
XProtect Mobile でアクションを使用する	45
アクションの表示とトリガー	46
通知に応答する	46
ドア表示して対応する	47
アクセスリクエストへの応答	48
入退出管理イベントの調査	49

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2020 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestone システム インストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

はじめに

このマニュアルは、XProtect Mobile モバイルデバイスAndroidまたはiOSを使用しているユーザーのためのものです。

XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて(説明付き)

無料のXProtect Mobile アプリでは以下が可能です:

- ライブビデオとビデオ録画を視聴する
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ トゥー トーク(PTT)機能を使用する
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する
- ビデオプッシュを使用して、モバイルデバイスのカメラから音声付きライブビデオをXProtect監視システムにストリーミングする
- 調査を作る
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを起こします。
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを見る

XProtect Mobileには5コンポーネントあります:

- XProtect Mobile クライアントはAndroidまたはiOS デバイスでインストールして使用できるモバイル監視アプリです。XProtect Mobile クライアントがインストールした必要な数だけ使うことができます。さらに情報が必要な時は、モバイルデバイス上でイページ12のXProtect Mobileサーバーサーバーコンポーネントのインストール(システム管理者用)
- XProtect Web Clientウェブブラウザ内でライブビデオを見る、あるいは録画をダウンロードする
- XProtect MobileサーバーはXProtect Mobile クライアントとXProtect Web Client ユーザーシステムへのアクセスを与える責任があります。
- XProtect Mobileプラグイン
- Mobile Server Manager

XProtect Mobile クライアントとXProtect Web Clientのシステムゲートウェイとして機能することに加え、このモバイルサーバーは、多くの場合大きすぎてクライアントユーザーが利用できる帯域幅に収まらないオリジナルカメラビデオストリームのビデオコードを変換できます。

XProtect Mobileはライブモードでのダイレクトストリーミングとアダプティブストリーミングに対応しています(XProtect ExpertとXProtect Corporateのみ)。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

XProtect AccessおよびXProtect Mobile(説明付き)



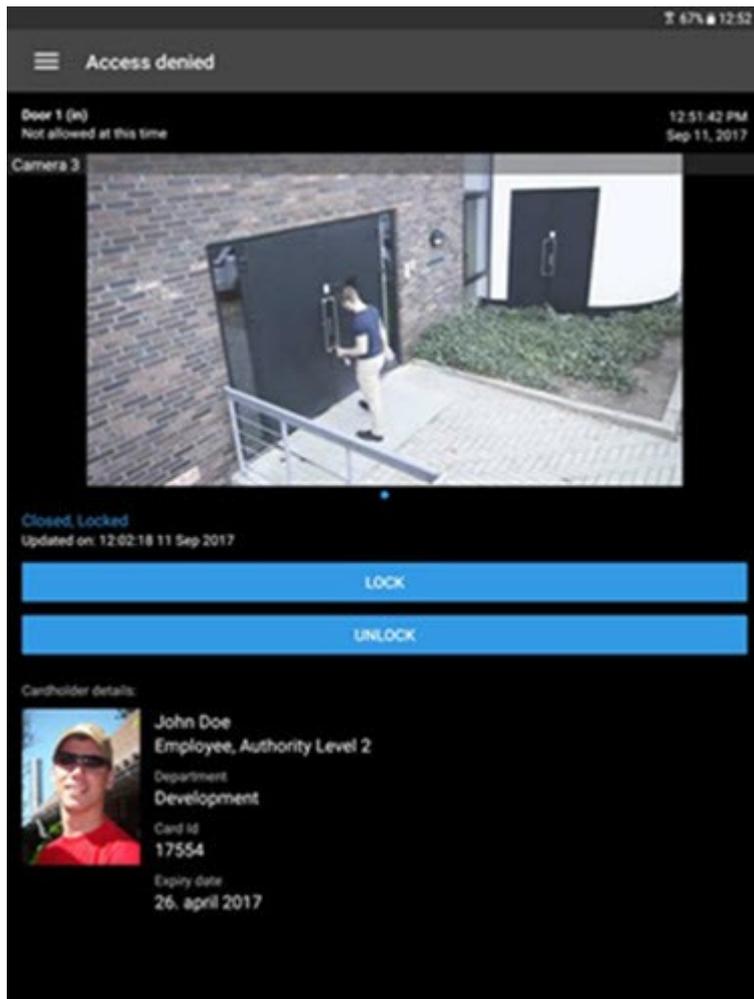
XProtectAccessを使用する場合、XProtectシステムでこの機能の使用を許可する基本ライセンスを購入しておく必要があります。また、制御する各ドア用のアクセスコントロールドアライセンスも必要です。

XProtectAccessとXProtectMobileアプリがスマートフォンまたはタブレットにインストールされている状態では以下が可能です。

- アクセスポイントでのイベントのライブ監視
- オペレータによるアクセスリクエストの受理
- アクセスポイントでのイベントの調査
- ドアの状態の一元化された概要とコントロール
- カードホルダー情報

アクセスリクエスト

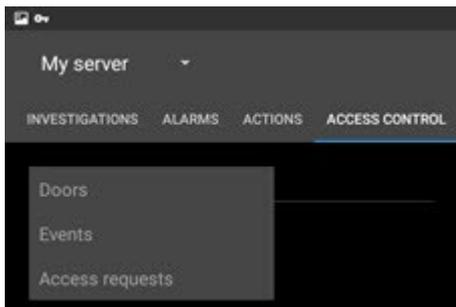
デバイスでアクセスリクエストを受信すると、次のように表示されます。



アクセスリクエストにより以下が可能になります。

- 「閉」、「ロック」等のドアの状態を確認する
- ライブビデオを閲覧する
- カードホルダーの詳細(写真や権限レベル)を表示する
- ドアを施錠したり、カードホルダーのためにドアを解錠してアクセスを許可する
- ライブモードで受信音声を再生する
- 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュツー トーク(PTT)機能を使用する

アクセスリクエストの下にアクセスリクエストが2分間一覧表示されます。その後は、イベントリストにのみ表示されます。このリストでは、カードホルダーがアクセスを試みた際に録画されたビデオを再生できます。



要件と注意事項

開始する前に(システム管理者用)

XProtect Mobile アプリを入退室管理の目的で使用するには、次のものがが必要です。

- Milestone Care Plus サービス契約
- XProtectAccess を使用するために必要なライセンスこれには、各ドアの基本ライセンスとドアライセンスが含まれません。
- VMSシステムに設定、統合された入退室管理システム
- 下記にリストされている製品のいずれか1つを使用している場合は、入退室管理とアクセスリクエストが可能となるよう、ユーザープロフィールを設定する必要があります：
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+(ページ15のサーバーのユーザープロフィールを構成する(システム管理者用)を参照)
- 下記にリストされている製品のいずれかを使用している場合は、ユーザープロフィールを設定して、入退室管理を有効にする必要があります。アクセスリクエストはデフォルトで有効になっています
 - XProtect Professional
 - XProtect Express(ページ15のサーバーのユーザープロフィールを構成する(システム管理者用)を参照)
- App StoreSM または Google Play から XProtect Mobile アプリをダウンロードして、ご自身のスマートフォンまたはタブレットにインストールする必要があります。
- XProtect Mobile アプリケーションでは、
 1. モバイルサーバーのサーバー設定を指定しなくてはなりません(ページ16のモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続するを参照)。
 2. サーバー設定では、アクセスリクエスト通知を有効にする必要があります(「ページ15のXProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化するでアクセスリクエスト通知を有効化」を参照)。



オペレータのログインが必要オプションを有効にした場合、XProtect Mobile クライアントでは入退室管理システムを使用できません。詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

音声を聞くための要件

モバイルデバイスを通じ、VMSシステムのカメラのインカム音声を聞くには、以下を保持していなければなりません:

- マイクがカメラに付随していること



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- ユーザー権限が不十分です



入ってくる音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS

HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者 (CA) からのデジタル証明書があなたのXProtect Mobileサーバーにインストールされている必要があります。



CAsはユーザーのアイデンティティとインターネット上のデータ交換webサイトをデジタル認証します。CAの例は、Comodo、Symantec、GoDaddyなどの企業です。証明書の詳細な情報については、[暗号化を有効にする](#)を参照してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

プッシュ・トゥ・トーク (PTT) 機能をVMSのモバイルデバイスで使用するには以下が必要です:

- スピーカー付きカメラ
- ユーザー権限が不十分です



ユーザー権限によっては、プッシュ・トゥ・トーク機能へのアクセスが制限される場合があります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 許可されたXProtect Mobileモバイルデバイスのマイクを使用するアプリ
- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS

HTTPS接続を使用したい場合は、認証管理者 (CA) からのデジタル証明書があなたのXProtect Mobileサーバーにインストールされている必要があります。

ビデオプッシュ使用の要件

ビデオプッシュを使用して音声付きのビデオをストリームするために、XProtect Mobile アプリがモバイル デバイスのカメラとマイクにアクセスできるようにしてください。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Mobile はライブ モードでの直接ストリーミングに対応しています(XProtect Expert および XProtect Corporate のみ)。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。これには以下が必要です。

- H.264 または H.265 コーデックに対応しているカメラを使用する
- モバイルデバイスで直接ストリーミングが許可されている(「ページ22のボタンと設定の概要」を参照)

詳細については、[XProtect VMS 管理者 マニュアル](#)を参照してください。

インストール

XProtect Mobile サーバーサーバーコンポーネントのインストール(システム管理者用)

この情報はシステム 管理者優先です。機能の詳細な説明と、設定および維持管理の手順については、[XProtect VMS 管理者 マニュアル](#)を参照してください。

2013年バージョンおよびそれ以降のバージョンのXProtect製品をインストールするときには、XProtect Mobile サーバーコンポーネントをインストールできます:

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+
- XProtect Professional
- XProtect Express
- Milestone Husky
- Milestone Arcus

XProtect Mobileを最大限に活用するには、必ず最新バージョンのVMS製品を使用してください。製品についての情報は、Milestone website (<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>)で入手可能です。

Milestone<https://www.milestonesys.com/downloads/>また、XProtect MobileサーバーWebサイト()のダウンロードページでは、無料でダウンロードできます。

XProtect Mobileサーバーコンポーネントをインストールする場所

監視システムを実行するコンピュータまたは専用コンピュータ上にXProtect Mobileサーバーコンポーネントをインストールします。

システムに10台以上のカメラを設置し、ビデオを同時に表示する場合は、Milestoneでは専用コンピュータにXProtect Mobileサーバーをインストールするよう推奨します。

XProtect Mobileサーバーはさまざまな方法でインストールできます:

XProtect製品	インストール方法	
	動画管理ソフトウェアと同一コンピュータ上にインストールする場合	専用コンピュータにインストールする場合
<ul style="list-style-type: none"> • XProtect Professional • XProtect Express 	XProtect Professional VMSソフトウェアの標準インストールを実行します。このインストールにはXProtect Mobileサーバーが含まれます。	別のXProtect Mobileサーバーインストールを実行します。
<ul style="list-style-type: none"> • XProtect Corporate • XProtect Expert • XProtect Professional+ • XProtect Express+ • XProtect Essential+ 	XProtect VMSソフトウェアのシングルコンピュータインストールを実行します。このインストールにはXProtect Mobileサーバーが含まれます。	別のXProtect Mobileサーバーインストールを実行します。

XProtect Mobileプラグインコンポーネントのインストール

Management ClientあるいはManagement Applicationを実行するすべてのコンピュータにXProtect Mobileプラグインをインストールする必要があります:

1. XProtect Mobile インストーラを実行します。
2. カスタムインストールを選択し、プラグイン(32ビットまたは64ビット)を選択します。両方インストールしてもかまいません。
3. Management Clientまたは Management Applicationをリスタート。

オペレーティングシステム

XProtect Mobileは次のモバイル デバイス用 オペレーティング システムをサポートします。

オペレーティングシステム	デバイス
Android 7.0以降	Androidをインストールしたスマートフォンやタブレット
iOS 11以降	iPhone, iPad, とiPod Touch

モバイル デバイスでXProtect Mobileをインストールする

モバイル デバイスで、Google Playまたは App StoreSM からXProtect Mobile アプリケーションを無料でダウンロードできます。

1. 「XProtect Mobile」を検索してアプリストアでアプリを見つけ、モバイル デバイスにインストールします。
XProtect Mobileのロゴ アイコンがデバイスの画面に表示されます。
2. XProtect Mobileを実行するには、このアイコンをタップします。



デフォルトでは、Milestoneデモサーバーがインストールを行います。サーバーを使用して、アプリをテストします。サーバーはテスト用であるため一部の機能はご利用いただけません。たとえば、PTZ(パン/チルト/ズーム) コントロールを使用できません。

デモサーバーを削除または編集することはできませんが、サーバーリストで非表示にすることは可能です。サーバーを非表示にするには [設定]に移動し、[全般]で [デモサーバーを非表示]設定を有効にします。

カメラからビデオを見るには、1つ以上のモバイル サーバーアプリに接続 (ページ16の モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続するを参照)。

設定

サーバーのユーザープロファイルを構成する(システム管理者用)

XProtect Mobileのユーザーが入退室管理を使用してアクセスリクエストをスマートフォンやタブレットに表示して対応できるように、特定のユーザー権限を有効にする必要があります。お使いになっているVMSに応じて、設定はわずかに異なります。

Management Client:

1. セキュリティを展開し、役割を選択します。
2. 変更したい役割を選択してください。
3. 役割設定で、入退室管理タブをクリックします。
4. 次のチェックボックスがまだ選択されていない場合はオンにします。
 - 入退室管理の使用 - XProtect Mobileの入退室管理機能を参照するために必要となります。
 - 通知を受信する - プッシュ通知としてアクセスリクエストを受信するために必要となります。
5. 必要な役割ごとに、上記の手順を繰り返します。
6. 変更を保存します。

Management Application:

1. 詳細設定を展開します。
2. ユーザーを展開します。
3. ユーザーを右クリックしプロパティを選択します。ウィンドウが表示されます。
4. 入退室管理 タブで、入退室管理の使用 チェックボックスが選択されていることを確認します。
5. [OK] をクリックします。

XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する



VMSから通知を受け取るには、**Milestone Care Plus** ライセンスを購入する必要があります。アクセスリクエスト通知はデフォルトで有効になっています。

サーバーのセキュリティ設定に加えて、XProtect Mobileのサーバー設定でアクセスリクエスト通知を有効にする必要があります。これは、アプリが接続されているすべてのサーバーで行う必要があります。

1. XProtect Mobile アプリを開き、以下の手順に従います:

- Android - サーバーリスト上で接続したいサーバーに移動し、 をタップしてから編集をタップします
- iOS - サーバーリストの右上にある編集をタップしてから、接続したいサーバーをタップします

2. 通知で通知の受信オプションを有効にします。

3. 通知設定をタップし、アクセスリクエストを有効にします。

4. 完了をタップします。

アクセスリクエストが無効になっていると、いかなるアクセスリクエストに関する通知も受けることはなく、アクセスリクエストのリストがXProtect Mobile アプリに表示されなくなります。

アプリの言語を選択

デフォルトでは、XProtect Mobile アプリはデバイスの言語を使用します。たとえば、デバイスがフランス語を使用する場合は、XProtect Mobile クライアントはフランス語で表示されます。

他の言語を使用するには、デバイスで言語を変更します。XProtect Mobile アプリを再始動して変更内容を適用します。



特定の言語でXProtect Mobile クライアントを使用するには、お使いのデバイスがその言語をサポートしている必要があります。

モバイル デバイスをモバイル サーバーに接続する

Google Androidまたは Apple iOSを使用しているデバイスと接続できます。

要件:

- システム管理者にネットワークとユーザー詳細情報を確認してください。
- アプリがインストールされ、開かれている
- HTTPSコネクションを使用したい際は、認証管理者 (CA)からのデジタル認証があなたの XProtect Mobile サーバーにインストールされている必要があります。



自己署名証明書の使用時には、XProtect Mobile アプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

以前に使用したことのないサーバーに接続する

1. モバイルサーバーを検索するためにローカルネットワークをスキャンするにはサーバーの追加をタップします。
2. サーバーを手動で追加をタップして手動で追加するサーバーを選択できます。
 - サーバー名、IPアドレス、ユーザーのログイン資格情報を入力し、をタップして保存します。デバイス上のサーバーリスト内にサーバー名が表示され、選びたいものを選ぶことが可能です。ユーザーは監視システムで設定する必要があります。
3. あるいは、次の操作を行うことができます:
 - デフォルトで、接続ではHTTPSを使用し、[安全な接続]の設定が有効になっています。HTTP接続を使用するには、設定を無効にする必要があります



HTTP接続が設定されているモバイルサーバーに接続するには、アプリ側で[安全な接続]を無効にする必要があります。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。

- XProtect Mobileを起動する際、常にこのモバイルサーバーに接続するには、[デフォルトのサーバー]設定を有効にして、このサーバーをデフォルトのサーバーとして設定します。
- アラームがトリガーされた場合、またはデバイスに問題がある際に通知を受けけるようにするには、[通知の受領]設定を有効にします (ページ21の通知の有効化または無効化を参照)

以前使用していたサーバーに接続する

1. モバイルサーバーを検索するためにローカルネットワークをスキャンするにはサーバーの追加をタップします。
2. 以前接続したことのあるすでに追加されたサーバーグループリスト1つ以上のサーバーをタップしてからをタップして保存します。
3. XProtect Mobileサーバーの資格情報でログインし、接続をタップします。



次回接続した際に資格情報を入力しなくてもいいようにするには、[資格情報の保存]設定を有効にします。

サーバーの一意のIDを入力して接続する



この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

サーバーの一意のIDについては、システム管理者に確認してください。

1. **[サーバーの追加]**をタップして、モバイルサーバーのローカルネットワークをスキャンした後、**[IDでサーバーを追加]**をタップします。
2. 識別子を入力してからをタップして保存します。
3. XProtect Mobileサーバーの資格情報でログインし、接続をタップします。



次回接続した際に資格情報を入力しなくてもいいようにするには、**[資格情報の保存]**設定を有効にします。

eメールから接続



この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、**Milestone Care Plus**サブスクリプションパッケージが必要です。

システム管理者があなたにサーバー固有の識別子を含んだeメールを送ります。IDを使用して、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します。

1. モバイルデバイスで、システム管理者からのeメールを探す。
2. XProtect Mobileがインストールされていない場合は、ダウンロード**XProtect Mobile**をタップし、ダウンロードできるストアに移動します。
3. XProtect Mobileがデバイスにインストールされたら、をタップします。XProtect Mobileにお使いのサーバーを追加します。
4. 接続するモバイルサーバーをタップします。
5. モバイルサーバーのログイン資格情報を入力し、接続をタップします。

モバイルサーバーの接続設定

モバイルサーバーをXProtect Mobileアプリに追加するには、以下を設定してください:

設定	説明
名前	サーバーの名前。 デバイス上のサーバーリスト上に名前が表示され、追加したいものをどれでも

設定	説明
	<p>選ぶことができます。</p>
<p>アドレス</p>	<p>XProtect Mobileサーバーを実行しているコンピュータのIPアドレス。IPアドレスがわからない時は、コンピュータのホスト名を挿入してください。</p>
<p>ポート</p>	<p>XProtect Mobileクライアントがサーバーと通信するために使用するポート番号。デフォルトポートは8081です。安全な接続のために、デフォルトポートは8082です。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #fff9e6;"> <p> ポート番号を編集する場合、サーバー側の対応するポート番号も編集する必要があります。さもなければ、XProtect Mobileアプリとサーバーは通信できません。</p> </div>
<p>安全な接続</p>	<p>HTTPS接続を使用してモバイルサーバーに接続するかどうかを示唆します。この設定はデフォルトで有効になっています。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #fff9e6;"> <p> アプリ側で[安全な接続]設定を無効にする場合は、モバイルサーバー側でもHTTPS接続設定が無効になっていることを確認してください。XProtect Mobileさもなければ、アプリとサーバーは通信できません。</p> </div> <p>不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。</p>
<p>ユーザー名</p>	<p>ユーザー名。</p>
<p>パスワード</p>	<p>パスワード。ユーザー名とパスワードは、XProtect基本ユーザー(Management ClientまたはManagement Applicationで設定)、またはドメインユーザーのいずれかに基づきます。</p>
<p>資格情報を保存</p>	<p>すでに追加されているサーバーに次回接続する際のためにユーザー名とパスワードをXProtect Mobileに記憶させたいかどうかを示唆します。</p>
<p>デフォルトサーバー</p>	<p>XProtect Mobileを開くときに、このサーバーにログインするかどうかを示します。</p>

設定	説明
通知の受信	通知を受け取るかどうかを示します。
通知設定	<p>希望する通知のタイプを表示します:</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのアラーム - アラームの所有者やソースに関係なく、いずれかのアラームがトリガーした時点で通知が送られます。 マイアラーム - 自身が所有するアラームがトリガーした時点で、または他の人物があなたに対してアラームを割り当てた時点で通知が送られます。 アラームの無効化 - イベントによってアラームがトリガーしても通知は送られません。ただし、これらのアラームイベントを [アラーム] で確認することはできます

モバイルサーバーへの接続の表示と編集

接続タイプを変更したり、デフォルトのサーバーとして別のサーバーを選択したい場合などに、モバイルサーバーへの接続の設定を表示して変更できます。

1. [サーバー]画面で:

- Android - サーバーのリストで関連するサーバーの  をタップし、[編集]をタップします。
- iOS - [編集]をタップしてから[サーバー接続]をタップし、該当するサーバーをタップします

2. 設定を表示および編集します。

- オートマチックコネクション- スマートコネクト機能を可能にする。これによりサーバーのアドレスが変更されても、モバイルサーバーに接続できるようになります。システム管理者がサーバーでこの設定を行う必要があります。
- 安全な接続 - 接続時にHTTPS使用。デフォルトで、HTTPS接続は有効になっています



HTTPSコネクションを使用したい際は、認証管理者 (CA)からのデジタル認証があなたの XProtect Mobile サーバーにインストールされている必要があります。自己署名した証明書の使用時には、XProtect Mobile アプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳しくは、システム管理者に確認してください。

- ユーザー詳細 - ログイン資格情報
- クレデンシャル情報を保存 - ログイン資格情報を記憶させる

- デフォルトサーバー-XProtect Mobileの起動時に常にこのサーバーに接続します
3. 手動でアドレスを追加するには、[サーバー接続]、[アドレスの追加]をタップし、IPアドレスとポート番号を入力します。

通知の有効化または無効化

監視システムにおいてイベントやアラームを設定した時は、XProtectMobile イベントやアラームのきっかけや、デバイスやサーバーに何か問題がある時に、通知を送ることができます。アプリが開いている場合、XProtectMobileは、アプリに通知を表示します。

通知の有効化または無効化

デフォルトでは、通知はサーバーの追加時に有効になります。これらの通知は、XProtectMobile アプリが開いている際に送られます。

1. XProtect Mobileを開き、次の操作を行います。

- Android - サーバー リスト上で接続したいサーバーに移動し、をタップしてから[編集]をタップし、次に[通知]で[通知の受信]を有効または無効にします。
- iOS - サーバー リストの右上にある[編集]をタップします。サーバーリスト上で接続したいサーバーに移動し、[通知]で [通知の受信]を有効または無効にします



[通知の受信]を無効にすると、サーバーステータス通知しか送られなくなります。

2. 通知を受けたいアラームを指定するには、[通知設定]をタップして以下のいずれかを実行します：
 - アラームを有効にする：
 - [すべてのアラーム]を選択 - アラームの所有者やソースに関係なく、いずれかのアラームがトリガーした時点で通知が送られます
 - [マイアラーム]を選択 - 自身が所有するアラームがトリガーした時点で、または他の人物があなたに対してアラームを割り当てた時点で通知が送られます
 - アラームを無効化 - イベントによってアラームがトリガーしても通知は送られません。ただし、これらのアラームイベントを [アラーム]で確認することはできます。
3. [完了]をタップします。

プッシュ通知の有効化



プッシュ通知は、Milestone Care Plus ライセンスを購入された場合にのみ利用できます。

アプリが開いていない場合でも、XProtect Mobileの通知を希望する場合は、プッシュ通知を有効にします。プッシュ通知がモバイルデバイスに送信されます。モバイルデバイスの通知設定により、通知方法が決まります。たとえば、バナーを表示したり、別の音を鳴らすことができます。

1. XProtect Mobileを開き、上記のステップに従って通知を有効にします。
2. プッシュ通知を有効にするには：

- Android - [サーバー]ページで  をタップし、[全般]で[プッシュ通知]設定を有効にします
- iOS - お使いのデバイスの設定に移動します。XProtect Mobileをタップしてから、[通知]をタップします。
[通知を許可]設定を有効にします

ボタンと設定の概要

このトピックでは、XProtect Mobile アプリのボタンと設定についてリストアップしながら説明します。アプリで操作方法がわからない項目がある場合は、ここを参照できます。

アプリを起動すると表示される [サーバー]画面には以下の設定が用意されています。

名前	説明
サーバーを追加する	ローカルネットワークをスキャンして、使用可能なモバイルサーバーを検索します。
IDとともにサーバーを追加する	固有サーバーの識別子を使用してサーバーを追加。この接続方法は、アドレスブックサービスを使用し、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。
サーバーを手動で追加する	サーバーの名前、IP アドレス、ユーザー ログイン資格情報を入力する。
 (Android) 詳細 (iOS)	<ul style="list-style-type: none"> • 編集 - サーバーの設定を編集します • 削除 - サーバーをリストから削除します • 接続 - サーバーに接続します
 (Android) 設定 (iOS)	表示または変更：

名前	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● [全般]設定: <ul style="list-style-type: none"> ● 起動状態を維持 - ビデオのストリーミング中も画面を起動したままにします ● デモサーバーを非表示 - デモサーバーがサーバーリストに表示されないようにします ● 使用データを匿名で提供 - 皆さまに優れたサービスをお届けするための一助となります ● プッシュ通知 - プッシュ通知を受け取ることができますようになります ● ビデオ画質設定: <ul style="list-style-type: none"> ● FPS(秒あたりのフレーム数) - FPSを下げることで帯域幅の使用を抑えられます ● 帯域幅または画質の最適化 - 帯域幅の使用を抑えることができます。無効にすると画質が向上します ● 低い画質を使用 - より高いFPSレートを使用できるようになります ● デバイスへのダイレクトストリーミングを許可 - ビデオ画質が向上します。ダイレクトストリーミングは、サーバーで有効になっている場合のみ可能です ● 管理設定: <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオコントロールを自動的に非表示 - 操作が一定時間が行われないと、ビデオコントロールが自動的に非表示となります ● デフォルトのPTZコントロール - PTZコントロールの希望のデフォルト設定を選択します <p>XProtect Mobileの使用について詳しくは、[ヘルプ]リンクをタップして参照してください。</p>

サーバーにログイン後は、AndroidのトップバーとiOSのボトムタブで以下のオプションが可能です:



オプションはそれらを表示する権限がある場合にのみ表示されます。その場所は**Management Client**、または**Management Application**です。

名前	説明
ビュー(Android)  (iOS)	利用可能なビューが表示されるほか、プレビューも確認できます。(ライブまたは録画)から見たいビデオを見るを選択。調査を作成することもできます。
アクション(Android)  (iOS)	アクセスアウトプットとイベントをアクティベート
調査(Android)  (iOS)	XProtect Web ClientまたはXProtect Mobile クライアントで作成された調査を表示します。
 (Android)  (iOS)	<p>ビデオプッシュを使用すれば、モバイルデバイスのカメラから音声付きビデオを監視システムにストリーミングできます。</p> <p>以下を表示または変更するには、[ビデオプッシュ]画面で  (Android) または [設定](iOS) に移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ解像度 - プッシュするビデオストリームの解像度を選択します 自動画質 - 画質が自動的に調整されます。この設定を無効にした場合、画質を低、中、高のいずれかに設定できます 位置データ- ビデオストリームに位置データを追加します <p>(XProtect Corporate、XProtect Expert、XProtect Professional+、XProtect Express+、およびXProtect Essential+のみ)</p>
アラーム(Android)  (iOS)	アラームを表示または応答します。
 (Android)  (iOS)	カメラのビューにフィルターをかけます。デフォルトで、選択された全てのビュー
	ビューまたは特定のカメラを探す <ul style="list-style-type: none"> 全てのPTZ カメラを探すには「ptz」と入力します すべてのマイク付きのカメラを探すには「音声」と入力します 全てのスピーカー付きカメラを探すには「ptt」と入力します

ライブモードでは、これらのボタンを使用することで以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	選択したカメラに対するアクションリストが表示されます。
 (Android)  (iOS)	PTZモードに入ります。スクリーンにPTZコントロールが表示され、これを用いて選択したカメラのパン、チルト、ズームイン操作ができます。PTZカメラ以外の場合はグレー表示になります。
 (Android)  (iOS)	選択したカメラのPTZプリセット位置が表示されます(PTZカメラのみ)。
 (Android)  (iOS)	現在のフレームのスナップショットを撮影します。スナップショットは次のように保存されます: <ul style="list-style-type: none"> スナップショットはデバイスのSDカードへ保存されます: /mnt/sdcard/Milestone (Android). スナップショットはお使いのデバイスの [フォトライブラリ] に保存され、以後デバイスの [写真] をタップすることでアクセスできます(iOS)。 保存場所は変更できません。
 (Android)  (iOS)	マイク付きカメラからインカム音声を聞く、を開始またはストップ
	スピーカー付きカメラのプッシュ-トゥ-トーク(PTT) 機能を開始またはストップ
 (Android)  (iOS)	再生モードからライブモードへ切り替えます。

再生モードでは、これらのボタンを使用することで以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	作成したビデオ録画のリストを表示します。
 (Android)  (iOS)	ライブモードのために小さなピクチャーインピクチャーを表示する/消す(PiP)ボタンを再度タップ、またはPiPビューをダブルタップすると、ライブモードに戻ります。
 (Android)  (iOS)	調査を作成します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画を順方向に再生します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画を逆方向に再生します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画の再生を一時停止します。
 (Android)  (iOS)	次のシーケンスに進むか、または前のシーケンスに戻ります。
 (Android)  (iOS)	シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、またはひとつ前のフレームに戻ります。
	ビデオ録画内の特定の時間に移動します。

名前	説明
X1	再生速度の選択肢が表示されます。
 (Android)  (iOS)	マイクとスピーカー搭載のカメラに保存されている音声を再生します。
 (Android)  (iOS)	再生モード中にスナップショットを撮ります。
 (Android)  (iOS)	ライブモードに戻ります。

モバイルデバイスからのビデオのストリーム(説明付き)

ビデオプッシュでは、モバイルデバイスのカメラからXProtect監視システムにライブビデオをストリームできます。

これは、例えば、調査中のエビデンスを取集中の時などに便利です。

	「モバイルデバイスからビデオをストリームするのはどのようなときですか？」
---	--------------------------------------

- 入口に群衆が集まっていて、制御室を見せたい
- ある犯罪行為を目撃し、犯人の映像がほしい場合
- 目撃者にインタビューをしていて、回答を録画したい場合
- 警備員が状況を処理していて、その行動を文書化したい

管理者はビデオプッシュを設定する必要があります。

ビデオプッシュを使用する前に、システム管理者は**Management Client**、あるいは**Management Application**で次の手順を実行する必要があります。

- モバイルサーバーへのチャンネルの追加
- ビデオプッシュドライバーをハードウェアデバイスとして追加する
- ビデオストリーミングに使うカメラにつながっているマイクを有効にします。
- デバイスからビデオをストリームできるユーザーを指定する



ビデオプッシュは、横長モードまたは縦長モードで利用できます。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

モバイルデバイスでのビデオストリームの設定

Androidの設定

[ビデオプッシュ]画面で  をタップします。

[ビデオプッシュ設定]画面で以下を指定します:

- ビデオ解像度 - ビデオストリームの解像度は低、中、高、**HD**のいずれかに設定できます。
- 自動画質 - 有効にすると、ビデオストリームの画質が自動的に調整されます
- ビデオストリームの画質を低、中、高に設定することもできます
- 位置データ (XProtect Corporate、XProtect Expert、XProtect Professional+、XProtect Express+、および XProtect Essential+のみ) - 有効にすると、ビデオのストリーミング中に自身の位置についての詳細を含めることができます。これには、デバイスで位置情報をオンにする必要があります。

iOSのセッティング

[ビデオプッシュ]画面で [設定] をタップします。

[ビデオプッシュ設定]画面で以下を指定します:

- ビデオ解像度 - ビデオストリームの解像度は低、中、高、**HD**のいずれかに設定できます。
- 画質 - XProtect Mobileによる画質の自動調整を許可するか、または画質を低、中、高のいずれかに設定します。デフォルトでは、自動画質が有効になっています。これは、ビデオの品質に影響する可能性があります。



接続速度が遅い場合、安定したFPSが得られるようXProtect Mobileクライアントにより画像の圧縮が変更されます。サーバーにより、ライブビデオを見る際のサービスのクオリティは異



なります。

- 位置データ(XProtect Corporate、XProtect Expert、XProtect Professional+、XProtect Express+、およびXProtect Essential+のみ)-有効にすると、ビデオのストリーミング中に自身の位置についての詳細を含めることができます。

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Mobile クライアントがインカム オーディオをサポートしている時:

- ライブビデオを見る(ページ33の生のビデオを閲覧するを参照)



カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

- ビデオ録画を再生する(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)

音声の受信は以下の場合においても利用可能です:

- 調査 (ページ42の調査の表示または作成を参照)
- アラーム (ページ44のアラームを表示を参照)
- アクセスコントロール (ページ47のドア表示して対応する、ページ48のアクセスリクエストへの応答、 ページ49の入退出管理イベントの調査を参照。)

プッシュ・トゥ・トーク(説明付き)

この機能により、VMSシステムを介した通信が可能となります(モバイルデバイスのマイクを使用して、音声装置付きビデオカメラの付近にいる人々と通信できます)。再生モード時には、録音された会話も再生することができます。

XProtect Mobile クライアントがサポートするプッシュ・トゥ・トーク(PTT) 機能:

- 1つのカメラからのライブビデオを見ている間 (ページ33の生のビデオを閲覧するを参照)。
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する間(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)
- 調査中(ページ42の調査の表示または作成を参照)
- アラーム発生時(ページ44のアラームを表示を参照)
- 入退室管理中(ページ47のドア表示して対応する、ページ49の入退出管理イベントの調査、ページ48のアクセスリクエストへの応答を参照)



XProtect Mobile クライアント アプリがあなたのモバイル デバイスのマイクにアクセスするのを許可しなければなりません。(ページ10のプッシュ・トゥーク使用のための要件参照)。

プッシュ・トゥーク(PTT)機能が使用可能の時、カメラ ツールバーにプッシュ・トゥーク ボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています:

アイコン	説明
 (使用可能)	ライブモードで、プッシュ・トゥーク(PTT)機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。使用開始するにはタップ & ホールド音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。
 (アクティブ)	ライブモードで、現在プッシュ・トゥーク(PTT)機能が使用中であることを示します。モバイル デバイスのマイクとビデオ カメラのスピーカーはアクティブな状態です。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示しています。
 (無効)	ライブモードで、プッシュ・トゥーク(PTT)機能は使用できるものの、使用条件を満たしていなかったことを示します(ページ10のプッシュ・トゥーク使用のための要件を参照)。
 (Android)  (iOS)	再生モードで  (Android) または  (iOS) をタップすると、ビデオ録画中に受信/送信する録音音声を再生できることと、再生する音声ソースを選択できることを示します。

プッシュ・トゥーク割り込みのルール

ユーザー権限のレベルに従い、(管理者 またはオペレータ)、ライブモード中のプッシュ・トゥークセッションには中断の2つのルールがあります:

- ユーザー権限が同レベルのユーザーは互いに割り込んではいけません。
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー(オペレータ)はユーザー権限が高いレベルのユーザー(管理者)に割り込んではいけません。

ダイレクトストリーミング(説明付き)

XProtect Mobileはライブモードでの直接ストリーミングに対応しています(XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、(XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる)XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。ダイレクトストリーミングはまた、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます(トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能)。

ダイレクトストリーミング機能を使用して、H.265コーディングに対応しているカメラからビデオを直接XProtect Mobileクライアントに転送することも可能です。

ダイレクトストリーミングは単一カメラビュー、グリッドビュー、ピクチャ・イン・ピクチャ(PiP)で使用できます。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません(「ページ11のダイレクトストリーミングの要件」を参照)
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264またはH.265ではありません
- ビデオを4秒間以上にわたって再生できない
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している

アダプティブストリーミング(説明付き)

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています(XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを視聴する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復号化能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能によって以下が可能となります。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度(要求したものと同等またはそれ以上の解像度)を持つストリームが選択されます
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、利用可能なもっとも低い解像度(低下したも

のと同様またはそれ以上の解像度)を持つストリームが選択されます

- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度を持つストリームが選択されます(3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨)



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

操作

XProtect Mobile アプリにログインする

システム管理者がユーザーアカウントに2要素認証を設定している場合、XProtect Mobile アプリにログインし、サーバーに接続する際、追加のログインステップが要求されます。

最初にあなたのユーザー名とパスワードを入力してください。次に e メール経由で受け取った認証コードを入力してください。

2要素認証でログインする

1. XProtect Mobile アプリアイコンをタップします。
2. サーバーのリストから関連するサーバーをタップします。



デフォルトサーバーを指定している場合、サーバーリストは表示されません。

3. システムが e メール アドレスに送った認証コードが要求されます。詳しくは、システム管理者にメールアドレスについて確認してください。
4. メールプログラムを開き、番号をメモします。
5. XProtect Mobile アプリでコードを入力し、 をタップして保存します。

ビデオを表示する準備ができました。

指定された時間内には(デフォルト時間は5分)、認証コードを使用しないと、その認証コードはタイムアウトになります。コード入力ページでは新しいコードが要求されます。

規定回数を越えると(デフォルトは3回)、ブロックされます。ブロックされた場合にはXProtect Mobile アプリからログアウトし、ログインし直します。

生のビデオを閲覧する

XProtect Smart Clientがビューに設定されている時のみ、ビデオを見ることができます。XProtect Mobileではビューを作成できません。また、XProtect Mobile クライアントはビデオのみを表示します。XProtect Smart Clientのビューに、マップ、テキスト、HTML ページなどの他のタイプのコンテンツがある場合は、そのコンテンツは表示されません。

サーバーに接続すると、XProtect Mobile クライアントはビューを一覧表示します。

- Android - ビューにアクセスするには[ビュー]をタップします
- iOS - ビューにアクセスするには をタップします

ビューの一覧には次の情報が表示されます。

- ビューのタイプ。これは、[すべてのカメラ]、誰でもアクセスできる[ビューの共有]、またはXProtect Smart Clientで設定しており自分だけがアクセスできる[プライベート]ビューのいずれかになります。
- ビューの名前。たとえば、建物Aです。
- ビューで使用可能なカメラ数

カメラからライブビデオの表示を開始する

1. 内臓カメラを表示するにはビューをタップ
2. カメラのプレビュー画像をタップします。
3. オプション音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。音声の再生を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします(マイク搭載のカメラのみ)。
4. オプションプッシュ・トゥークをスタートするには  タップ & ホールド  音声の送信をストップするにはアイコンをリリース。(スピーカー付きカメラの場合のみ)。

カメラからライブビデオの表示を停止するか、別のカメラを表示する

ライブビデオの表示を停止するには、

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

ビューの別のカメラからビデオを表示するには、

- 右または左にスワイプします。

カメラインジケータ

カメラインジケータには、カメラがモーションを検出しているのか、またはビデオを録画しているのか、あるいはその両方であるのかが示されます。カメラインジケータはカメラタイトルバーに表示されます。

シンボル	動きが検知されているか?	ビデオが録画されているか?
 		

シンボル	動きが検知されているか?	ビデオが録画されているか?
 		
 		
 		

特定のカメラの検索

大量のビューとカメラがある場合は、カメラ名を検索して、カメラを見つけることができます。

1. ビューリストの上にある  をタップします。
2. カメラの名前を入力します。

ビューのフィルタリング

特別なタイプのビューを見たい時、またはビューを少なくしたい時はフィルターを適用できます。すべてのビューは、表示されるかフィルタリングされるかに関係なく、フィルタをタップすると表示されます。もう一度ビューを含めるよう、いつでも選択できます。

ビューのフィルタリング方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。

1. ビューをフィルタリングするには、
 - Android - 右上の  をタップします。フィルターが常時適用されている場合は、アイコンにチェックマークが付
 けられます 
 - iOS - 右上の  をタップします。フィルターが常時適用されている場合は、青いアイコンが示されます 
2. ビューを含めたり除外したりするには、ビューをタップするか、スライダーを使用します。

3. フィルタを適用し、ビューの一覧に戻るには、

- Android - 右上の  をタップします
- iOS - 右上の[完了]をタップします

フィルタの選択を破棄します。

選択を保存していない場合は、破棄できます。

- Android - 左上の  をタップします
- iOS - 選択を手動で取り消します

フルスクリーンでライブビデオとインターアクトする

PTZ(パン/チルト/ズーム)制御とPTZプリセット位置を使用する

パン/チルト/ズーム(PTZ)カメラで視聴している場合、 (Android) または  (iOS) をタップすることでPTZコントロールを使用できます。コントロールを一度タップすると、1ステップパンまたはズームします。

システム管理者がManagement ClientあるいはManagement ApplicationでPTZカメラのPTZプリセットを作成した場合は、PTZモードでデバイスのPTZプリセットを使用できます。PTZプリセット位置はビューの事前指定された位置です。

デバイス上のオペレーティングシステムによりどのようにプリセットPTZにアクセスするか。

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

[PTZプリセット]リストで、プリセットを選択してその使用を開始します。

ズームインまたはズームアウト

ズームインまたはズームアウトを実行し、ビデオを詳細に確認できます。

- ズームインするには、 をピンチアウトまたはタップします
- ズームアウトするには、 をピンチインまたはタップします

XProtect Mobileはデジタルズームを使用します。

画像の切り取りまたは画面に合わせたサイズ調整

スクリーンにイメージがフィットするようにリサイズしたり、切り取りが可能です。デフォルトでは、画像は画面に合わせて調整されています。

画像の外側の部分は削除されます。フルスクリーンでイメージをクロップするには2度タップ。イメージのアスペクト値は保存されます。

ビューの他のカメラを表示する

ビューに他のカメラがある場合は、左右にスワイプし、ビデオを表示できます。

再生モードへの切替え

録画中に確認したいものがある場合は、再生モードに切り替えてビデオの確認または調査を開始することができます。

再生モードに切り替えるには：

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします。



調査中にライブビデオの監視を続けるには、 をタップしてピクチャ・イン・ピクチャをオンにします。ピクチャ・イン・ピクチャオプションをオフにするには、 を再度タップします。

ピクチャインピクチャの使用

調査したい対象が見えたけれども、現在の状況の監視を中断したくない場合、ライブビデオをピクチャ・イン・ピクチャ(PiP)に表示しながら、同時にビデオを再生することができます。

ピクチャ・イン・ピクチャ(PiP) をオンにするには：

1.  (Android) または  (iOS) をタップして、ライブモードから再生モードに切り替えます。
2. あなたのデバイスのオペレーティングシステムにより
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします



においてインカム音声は使用できませんPiP。



PiP ウィンドウを移動するには、PiP ウィンドウをタップ& ホールドし、画面上の希望の場所にドラッグします。

ライブビデオに戻る

ライブビデオをフルスクリーンで表示するには:

- PiP ウィンドウをダブルタップします
-  (Android) または  (iOS) をタップします

スナップショットの作成

ライブビデオを見たり、再生するとき、また、興味のあるものを見つけたとき、そのスナップショットを撮ることができます。



十分なユーザー権限がなければ、XProtect Mobile アプリの使用時にスナップショットを撮れません。詳しくは、システム管理者に確認してください。

スナップショットはモバイルデバイスに保存されます。

- Android - /mnt/sdcard/Milestone でデバイスのSD カードに保存されたスナップショットを表示します。
- iOS - フォトライブラリでスナップショットを表示します。



保存場所は変更できません。

ライブモードまたは再生モードでスナップショットを撮るには:

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

ビデオ録画の検索と表示

再生モードでは、カメラから録画ビデオにアクセスできます。

カメラでビデオ録画を表示する

オペレーティング システムによりどのように録画 デバイスアクセスにアクセスするか。

1. カメラを含むビューで、カメラのプレビュー画像をタップします。
2.  (Android) または  (iOS) をタップします。
3. カメラから録画のリストを表示するには:
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします

録画されたビデオの再生

タイムラインコントロールを使用し、録画されたビデオを再生します。コントロールはユーザーの操作に応じて表示されたり非表示になったりします。

-  - タップして時間ピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして、録画の特定の時間に移動します (ページ40の再生タイムラインの使用 (説明付き)を参照)
-  - 再生速度を上げる/下げる
-  (Android) または  (iOS) - ビデオを逆再生または再生します。  (Android) または  (iOS) をタップすると一時停止します
-  (Android) または  (iOS) - 前のシーケンスまたは次のシーケンスに移動します
-  (Android) または  (iOS) - シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、ひとつ前のフレームに戻ります
-  - カメラから送られるビデオをピクチャイン ピクチャに表示するか非表示にします (ページ37のピクチャイン ピクチャの使用を参照)

ビデオ録画の音声を再生します(マイクとスピーカー搭載のカメラ)

録音された受信音声と送信音声を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップして [音声ソース] リストを開き、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。

オプションは以下のとおりです。

-  [すべてのソース]- 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します
-  [マイク]- 受信音声のみを再生します
-  [スピーカー]- 送信音声のみを再生します
-  音声オフ(デフォルト)



音声の再生は、ビデオ録画が存在し、かつ録画を通常のスピードで再生する場合にのみ可能です。

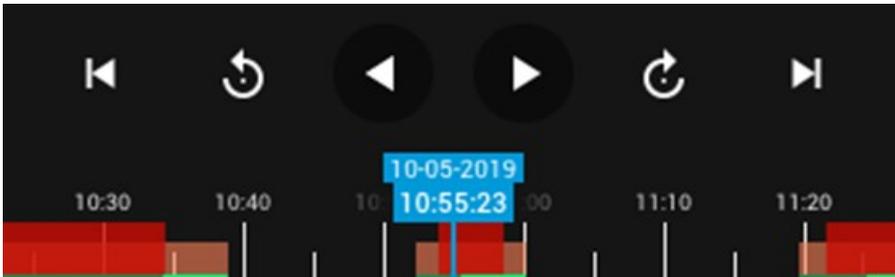
その他の録画の読み込み

[最新の履歴](iOS) または [履歴](Android) リストで、希望のシーケンスが見つからないけれども、他の録画が存在する場合は、録画を追加でロードして調査を続けることができます。

- AndroidおよびiOS - [その他の読み込み]をタップします。

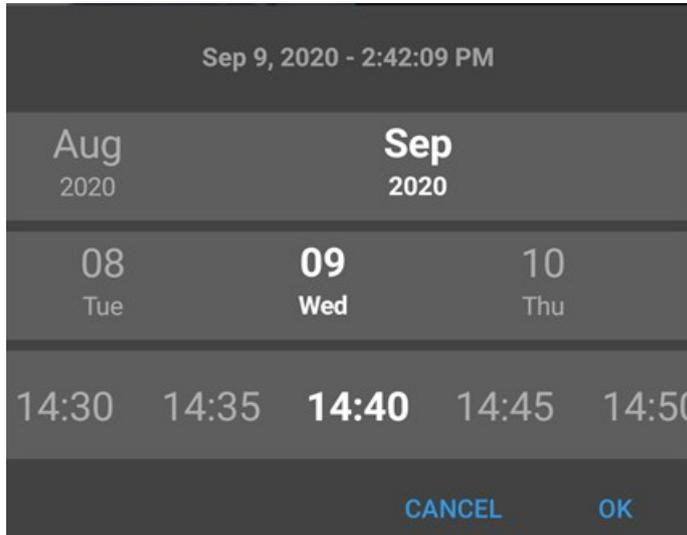
再生タイムラインの使用 (説明付き)

タイムラインバーで、録画を再生したい場合、または調査を表示したい場合の録画時間を指定できます。

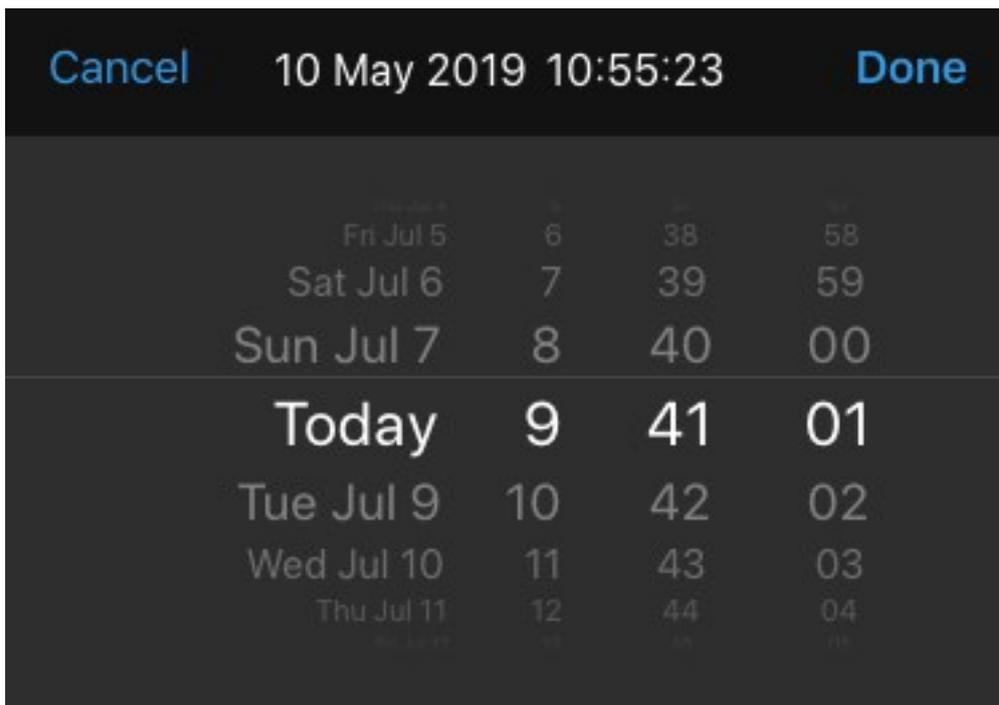


再生モードでこれを行うには:

- (Android) タイムライン バーで、青い時間インジケータをタップして時間ピッカーを開き、再生したい録画の部分の開始時間を選択します。[OK]をタップします。選択した開始時刻に録画が読み込まれます。



- (iOS) タイムライン バーで、青い時間インジケータをタップして時間ピッカーを開き、再生したい録画の部分の開始時間を選択します。[終了]をタップします。選択した開始時刻に録画が読み込まれます



- タイムライン バーで時間スクローラーを右または左にドラッグすると、再生したい録画の部分の開始時間を調整できます。時間スクローラーの中央で、青い時間インジケータは録画で選択された時刻を示します。青い時間インジケータの最上部にあるプレビューサムネイルには、現在、録画で選択しているフレームが表示されます。時間スクローラーのドラッグをやめると、再生したい録画が選択した開始時刻に読み込まれます。

タイムラインに表示される最大期間は24時間で、フレームの間は4時間の間隔になっています。フレーム間の最小間隔は1分間です。

タイムラインの色分け

- 明るい赤は記録を表します
- 赤はモーションを表します
- 明るい緑は受信音声を表します
- 緑は送信音声を表します

調査では、同じ手順で表示したい調査の時刻を指定できます。

調査の表示または作成

XProtect Web Clientで調査を使用している場合は、XProtect Mobileを使用して、ビデオと調査を表示、作成、および削除できます。調査からビデオをプレビューできますが、モバイルデバイスにダウンロードすることはできません。

実行中の調査と完了した調査の表示

モバイル デバイスのオペレーティング システムによる調査にどのようにアクセスするか。



上から下へ調査のリストをスワイプすることで、リストを素早く更新できます。このリストのトップにある必要があります。あるいは、スクロールしてください。

1. 調査へ行く

- Android - [調査]をタップします
- iOS - [ナビゲーション]ペインで  をタップします

2. オプション: [調査]画面では、以下を行うことで調査対象にフィルターをかけることができます。

- 個人の調査 - 自分の調査を表示します
- すべての調査 - 他のユーザーが作成した調査と自分の調査を表示します。管理者はこの操作ができる必要があります。

3. 調査の詳細を見るには、調査をタップ。

4. 調査でビデオを視聴するには:

-  (Android) または  (iOS) をタップします

5. 調査で特定の期間に移動するには、タイムラインバーで をタップし、時間ピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして、録画の特定の時間に移動します (ページ40の再生タイムラインの使用 (説明付き)を参照)。

調査の作成

調査を作成すると、モバイルデバイスではなく、接続先のモバイルサーバーにビデオが保存されます。デバイスでビデオを表示するには、サーバーに接続する必要があります。

1. 録画したカメラを見つけ、動画を最大化するためにプレビュー イメージをタップ。
2.  (Android) または  (iOS) をタップし、続いて
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
3. 調査期間を定義するための時間を指定します。
4. [作成]をタップします。

調査で音声を再生する

音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されたカメラで調査を作成した場合、通常スピードで録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)。

デバイスから監視システムにビデオをストリームします。

システム管理者がManagement ClientまたはManagement Applicationでビデオプッシュを設定し、使用可能にした場合は、デバイスから監視システムに音声つきビデオをストリームすることができます。詳細については、「ページ27のモバイルデバイスからのビデオのストリーム(説明付き)」と「ページ11のビデオプッシュ使用の要件」を参照してください。

ビデオプッシュのアクセスと使用方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。

1. ビデオプッシュへのアクセス:
 - Android - ナビゲーション バーで  をタップします
 - iOS - ナビゲーション バーで  をタップします
2. デバイスの前面カメラまたは背面カメラが撮影するビデオをストリーミングする:
 - AndroidとiOS -  をタップします
3. ビデオのストリーミング開始:
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
4. オプションビデオプッシュの音声を開始する:

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

5. オプションビデオフッシュの音声を停止する:

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

6. レコーディング停止:

- Android -  をタップします

- iOS -  をタップします

関心がある瞬間をブックマークに登録

XProtect VMS製品ではブックマークを使用できます。

後で調査したいものを見つけた時は、ビデオ録画中のビデオのモーメントをブックマークできます。

ブックマークを追加するには:

- Android - 右上の  をタップします
- iOS - 左上の[ブックマーク]をタップします

ストリームしたビデオの調査

XProtect Mobileはストリームするビデオを録画し、調査できるようにします。

1. ビデオフッシュカメラのビューに移動します。
2. カメラをタップして、全画面に移動します。
3. 録画を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。
4. 再生コントロールを使用して、ビデオを調査します。

アラームを表示

様々なイベントをアラームのきっかけとすることができます:

- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。

- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。



アラームを閲覧するには、システム管理者にアラームを設定し、また十分なユーザー権限をあなたに与えるよう依頼してください。

アラームを見る:

1. [アラーム]を開きます:
 - Android - [アラーム]をタップします
 - iOS -  をタップします
2. [全てのアラーム]リストからビデオを見たいアラームを見つけてそれをタップします。
3. アラームの詳細を見る:
 - イベントの種類
 - 発生時期
 - アラームの状態
 - アサインした人へ
 - アラームのプライオリティ
4. ビデオを再生するには:
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
5. ビデオを巻き戻したり早送りしたり、あなたが見ているイメージが撮られた時間を確認できます。
6. オプションカメラに音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)。
7. ビデオを後で保存するまたは他の人と共有する:
 - Android -  をタップします
 - iOS - 
8. 調査期間を定義するための時間を指定します。
9. [作成]をタップします。

XProtect Mobileでアクションを使用する

システム管理者が権限を付与した場合は、必要に応じて、アクションをトリガーできます。クライアントでは、アクションは、アクティブ化できる出力およびイベントです。たとえば、次のことができます。

- 録画を開始または停止する
- 別のフレームレートへの切り替え
- SMSおよび電子メール通知のトリガー
- PTZカメラをPTZプリセット位置に移動する
- ハードウェア出力をアクティブ化

アクションの表示とトリガー

見て、アクションのきっかけが可能です:

- ビューの一覧
- ライブビデオを表示するとき
- [アクション]画面

[アクション]画面でアクションを表示する

1. 出力とイベント別にグループ化されたアクションのリストを表示するには:

- Android - [アクション]をタップします
- iOS -  をタップします

アクションのトリガー

1. アクションをトリガーするには、以下のいずれか1つを実行します。

- AndroidおよびiOS-アクションの一覧で、アクションをタップし、トリガーすることを確認します。
- AndroidおよびiOS - ライブモードで、カメラツールバーの  (Android) または  (iOS) をタップし、カメラに関連付けられており、トリガーしたいアクションを選択します。

通知に回答する

XProtect Mobileは、アプリが使用されていない時でも、通知して注意を喚起できます。例えば、アラームを鳴らすきっかけがありシステムが通知する時。

今/後で反応

すぐに回答するには、通知をタップして、XProtect Mobileを開き、何が起こったのかを調べます。このときに、XProtect Mobileは通知を保存しません。

すぐに反応したくない時は、通知を後で見ることができます:

- Android - [通知領域]に移動します。通知ドロアを開き、詳細を表示します。
- iOS - ロック画面またはNotification Centerに移動します

ドア表示して対応する

ドアの状態(例えば、閉、ロック解除)のチェック、ライブビデオの確認、ドアをモニタリングしているカメラから録画されたビデオの再生を行うことができます。カメラに音声デバイスが接続されている場合は以下も可能です:

- 受信音声を再生する、およびライブモード中にプッシュツー トーク(PTT)機能を使用する
- 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する

ドアの状態によって、ドアをロックまたはロック解除できます。



ロックおよびロック解除が標準 オプションですが、他のコマンドがアクセス制御システムで定義されている場合があります。

1. 入退室管理を開きます:

- Android - 入退室管理 タブをタップしてから  をタップし、ドアを選択します

- iOS -  をタップしてからドアをタップします

ドアのリストが表示されます。

2. 見たいドアをタップします。

3. ドアをモニターしているカメラからライブモードでビデオを見ます。

4. オプション。受信音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。受信音声を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします(マイク搭載のカメラのみ)。

5. オプション。 プッシュ ツー トークを開始するには、タップしてそのまま押し続けます。音声の送信をストップするには  アイコンをリリースします(スピーカー付きカメラの場合のみ)。

6. 必要に応じて、ドアをロックまたはロック解除します。ドアの状態が変わります。

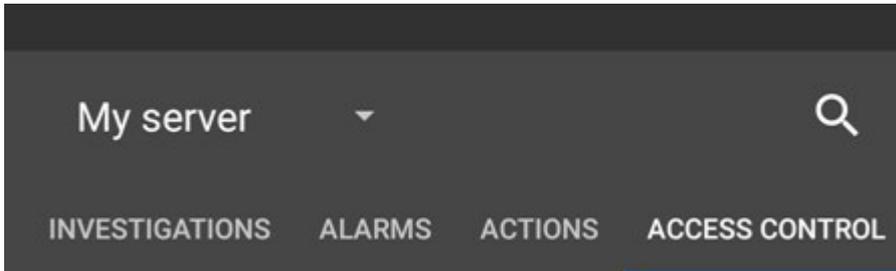
7. ビデオを再生するには、ライブ画像をタップしてから  (Android) または  (iOS) をタップします。再生モードでも、ライブモードでビデオストリームを見ることができます。

8. オプション。カメラに音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されている場合、通常スピードでビデオ録画を再生する際に受信/送信記録音声を聞くことができます(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)。

アクセスリクエストへの応答

誰かがドアコントローラーを使用して建物に入ろうとしてアクセスが拒否された場合、あなたのアプリにリクエストが送られます。入退室管理システムにより、ドアを開けてその人を建物に入らせるなどして応答することができます。

1. プッシュ通知をサポートするVMSシステムを使用している場合は、通知バーからアクセスリクエストを開きます。これはAndroidのタブレットの例です。iOSでは違って見えますでしょう。



または

1. アプリを開き、サーバーリストから接続したいサーバーをタップします。
2. 入退室管理を開きます:
 - Android - 入退室管理 タブをタップしてから  をタップし、アクセスリクエストを選択します
 - iOS -  をタップしてからアクセスリクエストをタップします
3. アクセスリクエストをタップして開きます。アクセスリクエストを許可した後、以下を見ることができます:
 - ドアのカメラからのライブビデオ
 - 建物に入ろうとしている人物の詳細



アクセスリクエストは2分後にリストから消えます。このイベントはイベントリストで確認できます。

4. カメラを切り替えるには画面上のライブイメージをスワイプしてください。3台以上ある場合は、数回スワイプします。
5. オプション受信音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。受信音声を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします(マイク搭載のカメラのみ)。
6. オプション  プッシュツー トークを開始するには、タップしてそのまま押し続けます。 音声の送信をストップするにはアイコンをリリースします(スピーカー付きカメラの場合のみ)。
7. ここでドアをロックまたはロック解除できます。

8. カード保持者が入ろうとしたとき、あるいはその前にビデオを再生するには：
 1. ライブ画像をタップします。大きい画面にライブビデオフィードを表示。
 2. 再生モードに切り替えるには、 (Android) または  (iOS) をタップします。ビュー変更して、ライブビデオを一番上に表示することもできます。
 3. オプション。カメラに音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されている場合、通常スピードでビデオ録画を再生する際に録音された受信/送信音声を聞くことができます(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)。

入退出管理イベントの調査

直近1時間に誰が建物に入ったのか、誰がアクセスを拒否されたのかを確認できます。入退出管理イベントにはドアコントローラーの改ざん および、ドアコントローラーの電源障害のような事例もあります。そのようなイベントは、入退出管理システムで定義されます。



デフォルトでは、過去30日間のすべての入退出管理イベントが表示されます。

1. 入退室管理を開きます：
 - Android - 入退室管理タブをタップしてから  をタップし、イベントを選択します
 - iOS -  をタップしてからイベントをタップします
2. オプションイベントがリストにない場合は、リストの下部にあるさらに読み込むをタップして、まだ表示されていないイベントを表示します。
3. イベントをタップして詳細を表示します。たとえば、イベントがドアロック中の場合は、ドアを表示をタップしてドアの状態を確認したり、ドアをロック/ロック解除したりします。
4. イベント発生時に録画したビデオを再生するには：
 - Android -  をタップします
 - iOS -  をタップします
5. オプションカメラに音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に録音された双方向音声を再生できます(ページ38のビデオ録画の検索と表示を参照)。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systemsは、世界中の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

